蜂窩織炎（ほうかしきえん）の話

皮膚科　尾立朱実（医師）

どんな病気か

蜂窩織炎は、皮膚の比較的深い所に起きている細菌感染症です。

皮膚は、表面から順に、表皮（厚さ1ミリに満たない細胞の層）、真皮（細い血管や神経、汗腺・汗管などが通る厚さ数ミリの線維主体の組織で、弾力を保つ）から成り、さらにその下に脂肪の組織である皮下組織があります。

蜂窩織炎は、この皮膚の真皮から皮下組織の細菌感染（化膿）です。

こんな時に細菌が繁殖します

皮膚の下の方は、本来無菌なのになぜ細菌が繁殖するのでしょうか。

皮膚の表面では適度の汗や、常在菌といってふだんからブドウ球菌などの細菌が共存することによって、他の細菌の繁殖や侵入を防ぎ良い状態に保っていますが、バランスが崩れると、細菌が侵入して化膿します。ブドウ球菌自身も繁殖すれば病原性を発揮します。

疲労やストレス、体力低下も感染のきっかけになります。また、糖尿病が悪化すると、感染を起こしやすくなります。

水虫やけがなど比較的明らかな傷から感染することもありますが、明らかな侵入口と思われる傷が見当たらないこともよくあります。細菌ですから見えない程度の傷からも侵入します。

発症した部位の皮膚は赤く腫れ熱を持って痛みます。寒気がして熱がでることもあります。好発部位は、下腿（膝から下）～足背、顔、前腕～手背です。

原因となる菌は、黄色ブドウ球菌、溶血性連鎖球菌が多いといわれますが高齢の方では緑膿菌や、また糖尿病を合併している方では数種類の混合感染もあるように思います。

抗生物質を投与する

治療としては、抗生物質を内服か点滴します。

外用剤は消毒も含めあまり意味がありません。安静にして局所は冷やし気味にしますが、極端に冷やすのは循環を悪くするので程々にします。暖めると痛みも腫れも悪化するので入浴はしないほうが良いです。

蜂窩織炎の場合、表面に膿や分泌物が無いことが多く、細菌を直接検査することができないことがよくあります。

従って治療は抗生物質の効き具合をみながらおこないます。

治療に難渋することも少なくありませんが、それは予想と異なる菌だったり、耐性菌といって薬剤に強い菌のことがあるからです。

細菌を弱めたり殺したりするための抗生物質は、長い間には薬に強い菌も作り出すことにもなっているので、何もしないで治ればいいのにと思うこともあります。

実際、軽い場合には、冷やしただけで治った方もいらっしゃいましたが、通常は抗生物質を使用することになります。

体はそっと洗おう

先ほども述べたように、皮膚には自分でよい状態に保つような機能が備わっているので、普段から自然に備わっているものを生かすように、入浴の時にナイロンタオル等でごしごしこすったりせず、薄手の綿タオルで石鹸を泡立て、そっと洗うようにしましょう。

乾燥気味の方は保湿もよいですが、過度の補充は本来の機能を損なうので不要と思います。

そして、疲労やストレス、不安を抱え込まないよう、心と体の声をよく聴いてください。

はとぶえ会学習会の案内

- ●日　時　8月29日（土）13時から
- ●場　所　代々木病院東館地下会議室
- ●テーマ　新型インフルエンザにご用心を（仮題）
- ●主　催　はとぶえ会
- ●連絡先　習田　務（03―3203―2338）まで。

新任精神科科長　紹介

6月1日付で代々木病院精神科科長に天笠崇医師が就任いたしました。

15年ぶりに帰ってきました

代々木病院精神科
科長　天笠　崇

代々木病院のみなさん、お久しぶりです。

初期研修医として1年3カ月、精神科外来医長として1年、その後しばらく外来非常勤医として勤めておりましたが、代々木病院に帰ってくるのは15年ぶりくらいだと思います。

年末・年始、当法人で職責を担っていた精神科医が複数退職し、入職医師はゼロ。昨年、代々木病院赴任のお話をいただいた際の予定より半年遅れ、少ない勤務日でのスタートとなりました。

お暇していた15年間には、みさと協立病院精神科科長→副院長、1年間の国内留学（公衆衛生大学院）を経て、法人内のメンタルクリニックみさと所長を仰せつかっております。

エビデンス・ベースの臨床実践（治療とリハビリテーション）、生活技能訓練（SST）を筆頭にした認知行動療法（CBT）、労働関連精神疾患・自殺（「過労自殺」）の要因分析および予防、職場のメンタルヘルスなどの領域で精進してまいりました。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

季節の草木

菖蒲〈ショウブ〉

（明治神宮にて）

くすりの話あれこれ 42

葛（クズ）はつる性のマメ科の植物で、夏から秋にかけて、紫紅色の蝶型の花を付けます。この根が葛根（カッコン）でデンプン、イソフラボノイド類、サポニン類などを含む漢方薬の原料生薬です。クズという植物名は、昔奈良県吉野の国栖（くず）人が根からとったデンプンを「国栖粉」と名づけて売ったからだと言われています。

クズは、現在アメリカでは森林を覆いつくす勢いで繁殖し、樹木を弱らせてしまう害草になっています。太く長い繊維性の強固な根とつるをダム壁の地固めの目的で、日本の種を繁殖させたことが原因です。日本や中国では、幼虫が芽を好んで食べるシジミ蝶類がいるのでこんな騒ぎにはならないそうです。

葛（クズ）と葛根湯（カッコントウ）

一由　久美子（薬剤師・たくみ外苑薬局）

葛根湯は、葛根、麻黄、桂枝、芍薬、甘草、生姜、大棗で構成されています。葛根・麻黄・桂枝・生姜は、発汗・解熱に働き、麻黄は気管支平滑筋のけいれんを止めて咳を鎮めます。葛根・芍薬・甘草は、筋緊張を緩和し、生姜は、消化吸収を助け、大棗は身体を元気にします。

背筋がぞくぞくする寒気、発熱、頭痛、後頭部や首筋、肩・背中がこってつっぱる感じがするときなどに葛根湯を服用します。

たとえば、朝元気に仕事に出かけたのに夕方には頭が重く、背中から首筋にかけてこわばり、ぞくぞくと寒気がする、じっとりとした汗はなく、肌はさらっとしている。こんな症状の時、熱い葛根湯を飲むと、ひと汗かいたあとすっきりして、翌日出勤できるようになります。一日中同じ姿勢で事務をとる人、手作業に追われる人、冷房で背中から首すじにかけて筋肉がつっぱる人、これらはみな血液の流れが悪くなっている証拠です。葛根湯は身体を温め血行をよくして、肩のこりや筋肉の痛みを和らげます。

落語に「葛根湯医者」という噺があります。患者が「頭が痛い」と訴えると「それでは葛根湯」、別の者が「腹が痛い」と葛根湯。しまいには付き添い人にも「葛根湯をお上がり」と勧めるというオチ。どんな患者にも葛根湯でごまかす藪医者を揶揄（やゆ）したものですが、それほどよく用いられる応用の広い処方です。

署名にご協力ください

75歳以上の窓口医療費無料化請願

当院も参加している後期高齢者医療制度の廃止を求める東京連絡会では、後期高齢者医療制度の廃止実現とともに、東京都で75歳以上の医療費窓口負担無料化を実現する運動に取り組んでいます。

高齢者が安心して医療が受けられるために、窓口負担の軽減が必要です。

代々木病院組織広報室